

令和4年度 学校生活相談センターの相談状況について(8月末現在)

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 R3年度8月末	→	本年度 R4年度8月末	
相談件数	369件	→	348件	(21件 減)
延べ回数	563回	→	501回	(62回 減)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	142	40.8%	187	37.3%
	夜間・休日	154	44.2%	241	48.1%
文書 (メール・FAX・手紙)	51	14.7%	72	14.4%	
来所	1	0.3%	1	0.2%	
計	348	100.0%	501	100.0%	

2 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	118	33.9%	213	42.5%
女	164	47.1%	207	41.3%
不明	66	19.0%	81	16.2%
計	348	100.0%	501	100.0%

3 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	132	37.9%	187	37.3%
本人	131	37.6%	186	37.1%
本人以外の子ども	1	0.3%	1	0.2%
大人	198	56.9%	291	58.1%
父	33	9.5%	74	14.8%
母	120	34.5%	158	31.5%
祖父	1	0.3%	1	0.2%
祖母	9	2.6%	15	3.0%
その他の大人	35	10.0%	43	8.6%
不明	18	5.2%	23	4.6%
計	348	100.0%	501	100.0%

4 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	4	1.1%	5	1.0%
小学生	96	27.6%	160	31.9%
中学生	83	23.9%	107	21.4%
高校生	119	34.2%	171	34.1%
その他	31	8.9%	39	7.8%
不明	15	4.3%	19	3.8%
計	348	100.0%	501	100.0%

5 相談の主訴 ※相談者の立場が不明（分類不可）だった相談を除く

(1) 子どもからの相談

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	10	7.6%	13	7.0%
	不登校・登校渋り	13	9.8%	20	10.7%
	暴力問題	0	0.0%	0	0.0%
	異性関係・性の問題	4	3.0%	10	5.3%
	対人関係・友達関係	21	15.9%	27	14.4%
	非行・不良行為	0	0.0%	0	0.0%
	心身の疾患・障がい	5	3.8%	5	2.7%
	学業・進路	11	8.3%	13	7.0%
	自分関連(性格など)	27	20.5%	44	23.5%
	インターネット・ゲーム関連	0	0.0%	0	0.0%
学校・教師に関すること	27	20.5%	35	18.7%	
家庭・私生活に関すること	11	8.3%	14	7.5%	
意見・問い合わせ	3	2.3%	4	2.1%	
その他	0	0.0%	2	1.1%	
計	132	100.0%	187	100.0%	

(2) 大人からの相談

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	15	7.6%	20	6.9%
	不登校・登校渋り	27	13.7%	35	12.0%
	暴力問題	0	0.0%	0	0.0%
	異性関係・性の問題	7	3.5%	8	2.7%
	対人関係・友達関係	12	6.1%	15	5.1%
	非行・不良行為	0	0.0%	0	0.0%
	心身の疾患・障がい	2	1.0%	2	0.7%
	学業・進路	5	2.5%	7	2.4%
	自分関連(性格など)	2	1.0%	2	0.7%
	インターネット・ゲーム関連	2	1.0%	2	0.7%
学校・教師に関すること	67	33.8%	86	29.6%	
家庭・私生活に関すること	25	12.6%	75	25.8%	
意見・問い合わせ	24	12.1%	28	9.6%	
その他	10	5.1%	11	3.8%	
計	198	100.0%	291	100.0%	

6 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
関係機関へ連携した案件	36	10.3%	46	9.2%

主な連携先(延べ回数)

小中学校(私立含む)	…13回	警察関係	…2回
高等学校(私立含む)	…14回	児童相談所	…0回
県教育委員会(教育事務所含む)	…8回	こども・家庭課	…0回
市町村教育委員会	…4回	私学振興課	…6回

結果の概要

・本年度8月末時点での相談は348件、延べ回数は501回で、昨年度同期と比べ相談件数、延べ回数ともにやや減少している。
 ・子どもからの相談では「自分関連(性格など)」および「学校・教師に関すること」の相談が多く、次いで「対人関係・友達関係」が多い。

・大人からの相談では「学校・教師に関すること」が最も多く、次いで新規の相談では「不登校・登校渋り」、継続の相談では「家庭・私生活に関すること」の相談がそれぞれ多い。子育てに関する相談は、継続での相談になる傾向がある。

《8月の特徴》

・相談件数54件、延べ回数86回で、今年度5月(59件、85回)に並ぶ少なさで、件数については今年度最も少ない。前年度同期より減少している。(参考 R3:71件、113回 R2:59件、80回 R1:61件、130回)